

蒲郡市シティセールス基本方針（案）

パブリックコメント募集募集で提出された意見及び意見に対する考え方

（令和3年5月7日から令和3年6月6日まで実施）

No	提出者	意見の概要	意見に対する考え方
1	A	官民連携により策定された本基本方針であり、方針策定に向けて努力された皆様の取り組みは素晴らしいと思っております。また、蒲郡うどんやゾッキをはじめ、蒲郡市の動きは、他の市町村より一歩進んだ取り組みがすでに出来てきていると感じております。	今後もグルメとロケ誘致などを通じて蒲郡市を全国にPRできればと思っております。
2	A	どこに向かうのか、目標が明確でない→ <u>市民の力を集約する明確な目標設定を期待</u> 本案が成功したのか否かを図る指標が明確となっていないと感じました。どこに蒲郡市は行きたいのかという形での計画案として頂きたいと思えます。例えば、「2030年までに愛知県内での住みたい街ランキングを県内でベスト3以内とする」といった期限を明確にした測定可能な目標を設定することで、責任を持った推進ができると感じます。	現在各団体が行っている活動もこれから行う活動も、蒲郡市民8万人が一丸となりシティセールスを推進していくにあたり、取り組みの方向性を明確にするために基本方針を策定しました。そういった経緯もあり、基本方針には具体的な数値目標は記載しておりませんでした。パブリックコメントを受け、蒲郡市民一丸となって行うには指標が必要となると考え、基本方針に指標を記載し、以下の4つの指標を目安として事業を推進していくこととします。 ① 対市民向けにつきましては2年に1度の市民意識調査における「蒲郡市の住みやすさ」を指標といたします。 ② 同じく市民意識調査における「蒲郡市への愛着度」を指標といたします。

			<p>対市外向けにつきましては、基本方針のターゲットとなる近隣エリア(名古屋圏)と首都圏に在住の方を対象とします。</p> <p>③ 名古屋圏の方を対象に東三河広域連合が実施している WEB 調査で、「蒲郡市に行きたいと思うか」について調査し、指標といたします。それぞれ 20 代-60 代の男女 500 名に実施します。</p> <p>④ 首都圏在住の方について、同じく東三河広域連合の WEB 調査で「蒲郡市の認知度」を調査し、指標とします。こちらは毎年行っている調査です</p> <p>また、蒲郡市シティセールス推進協議会(仮)を定期的で開催し、シティセールス関連施策・事業について情報交換を行うとともに、会としてのあり方や、事業展開方法などを確認していきます。</p>
3	A	<p>目標設定のための現状分析の深さが見えない→<u>データに基づく現状分析を期待</u></p> <p>今、蒲郡の置かれている立場をしっかりと認識し、データ等に基づいた分析が開示された文書内では見られませんでした。現状分析がデータ等に基づいて出来ていなければ、課題も明確にならず、そもそも上記のような目標設定は難しいと思います。やはり、ホームページ上に開示されている「蒲郡市シティセールス基本方針策定等委託業務事業者募集に</p>	<p>基本方針を策定するにあたり、蒲郡のシティセールスに関わる概況についてのデータを基にしております。</p> <p>蒲郡市の人口や転出入の状況、観光客の推移等の基礎的な概況、他市との比較、観光資源やシティセールスに関する取り組みについて、蒲郡の強み弱みを分析しております。こちらを基に課題を把</p>

		<p>かかる質問への回答」の中で、「基本方針策定にあたり、最も適切かつ実施可能な基礎調査、現状分析方法をお示しください。蒲郡市市民意識調査等、既存の調査結果を用いるなど、新たなアンケートの実施や調査専門業者等への依頼を必ずしも要件とするものではありません。」という回答があり、予算面で十分な現状分析ができなかったのでしょうか。</p>	<p>握し、基本方針の策定を行っております。データについては、ホームページにも掲載しております。</p>
4	A	<p>既存資源の磨き上げが十分でない→さらに蒲郡オリジナルな歴史の掘り下げを期待</p> <p>蒲郡の既存資源の掘り下げをしっかりと行ってほしいと思います。例えば、「蒲郡風土記」や「蒲郡史談」などから伝説などを含めた郷土史を掘り下げること、より蒲郡の魅力を増すためのヒントが転がっていると思います。</p> <p>例えば、2023年NHK大河ドラマのタイトルが『どうする家康』に決定し、「ひとりの弱き少年が、乱世を終わらせた奇跡と希望の物語で徳川家康の生涯を新たな視点で描く。」という情報を聞きました。蒲郡と徳川家康や松平氏との関係を深掘りする（私の知っている範囲でも下図のような関係があると思います）、あるいは、徳川家康の忍者による上ノ郷城攻めをきっかけに忍者を蒲郡の新たなマスコットキャラクターにするなど様々な方法があると考えます。ぜひとも、既存資源の磨き上げで、蒲郡の魅力をさらに高めて頂きたいと思います。</p>	<p>既存の資源の掘り下げ、磨き上げについては施策の方向性1の「魅力の再発見」の中で引き続きシティセールス推進協議会(仮)で行っていきます。その際の参考意見として受け止めさせていただきます。</p>
5	A	<p>他自治体を含む外部との連携策が見えない→具体的な外部連携策を期待</p> <p>既存の姉妹都市との連携や上記に挙げたような松平氏を中心とした他</p>	<p>他自治体との連携については、ロケ誘致の活動では隣町の幸田町と連携して行うなど近隣自治体とは密に連携をとっているような状況です。</p>

		<p>の自治体との連携などは一定の効果があると思います。また、SNSでのセールスなどについても、蒲郡の海鮮を売り込む際に、例えば、人気ユーチューバーのきまぐれクックと市長との料理対決など、外向けにどのようにアピールするのか、そのための連携策はないかという点はさらに深掘りして頂きたいと思います。</p>	<p>外部への発信については、連携をはかり進めてまいりたいと考えております。</p>
6	B	<p>蒲郡ってとても魅力的な市だと思いますが、今はその魅力を十分に活かしきれていないと感じます。内からも外からも「蒲郡ファン」を増やす事、大賛成です。</p>	<p>蒲郡のファンを増やせるよう基本方針に基づき活動を行ってまいります。</p>
7	B	<p>蒲郡「みかんマラソン」の開催（仮称です） 自分はフルマラソンを2回、ハーフを5回くらい走った事がありますが、蒲郡はマラソン大会を開催するのにとても適した市だと思います。その理由は・景色が良い・街の規模がほどほど・気候が温暖・暖かい人達が多そう。高知龍馬マラソンを走りました。42キロの間、ずっと沿道に人がいて応援してくれました。高知市ってこんなに人口いたの？って感じです。小中学生はバンドや合唱で応援してくれたり、200人位並んでハイタッチしてくれます。涙出ます。土佐の特産品が各休憩所に置かれており、そのおもてなしぶりに疲れも吹っ飛びます！個人的にはカツオの入った握り飯が美味かった。加えて、桂浜に代表される風光明媚なコース設定。蒲郡なら真似できるのでは？と考える次第です。ラグーナから竹島で潮風を浴び、ブルーブリッジから大島や形原漁港を眺め、西浦パームビーチでカリフォルニア気分を味わい・・・海を見ながら、山を見ながら・・・元気がもりもり湧いてきます！道も比較的*広い道*を選択できそうだし、アップダウンも適度で走りやすいコース設</p>	<p>ご提案いただきありがとうございます。 風光明媚な蒲郡の景観は蒲郡市の宝物だと思っております。基本方針に基づく施策の方向性2に魅力の創出があります。こちらの検討の際の参考意見として受け止めさせていただきます。</p>

		<p>定が出来そうです。</p> <p>実は、愛知県には*フルマラソンがないんですよね。女子は名古屋ウィメンズがありますが…。その意味では、やれば必ずランナーが来てくれると思います。というか、県内のランナーから期待されていると思います。市外からランナーを招き、温泉旅館に泊まってもらう。走って疲れ切った後の温泉は最高です。今は元気のない旅館も息を吹き返します！</p>	
8	B	<p>「アカデミック蒲郡」構想</p> <p>聞いた話ですが、生命の海科学館は、専門的に見ても中々の展示物がある様です。地球誕生の歴史とか古代生物とか…展示内容の高尚さは、市民にもあまり知られていないのでは？小学生とかの団体利用はある様ですが、まだまだ利用者が少なすぎると思います。</p> <p>竹島水族館は、最近は露出度も高く人気度も上がっている様ですが、こちらはこちらで、「深海魚の展示」にかけては日本でも有数の水族館なんでは？入り口前に並ぶ人を見てて気の毒に思いますし、もっと広くし多くの人にゆっくり観てもらえるようにしたら…と思います。</p> <p>提案としては、これら二つの展示館を万博のパビリオンの様に並べ、「アカデミックゾーン」を作る感じです。</p> <p>蒲郡駅からエディオンに至るゾーンを再開発するような話もちらっと聞きましたが、あのあたりです。</p> <p>これらふたつ共、見せ方（展示内容）を上手く工夫すれば、大人から子供まで、もっと言うとその道の専門家でも楽しめる施設に出来るのではと思います。ただ楽しむだけの施設は色々あるが、楽しめて勉強にも</p>	<p>ご提案いただきありがとうございます。参考意見として受け止めさせていただきます。</p>

		なる、が売り文句です。 なんかこう・・・「アカデミックな街 蒲郡」というイメージを作れないかな・・・と思いますね。	
9	C	市外から嫁いで二年になります。はじめは何もない田舎に来たな、と思っていましたが、最近森道や、ゾッキをきっかけに蒲郡じゅうを車でウロウロしながら、底知れない魅力がまだまだあることに気づきはじめました。また、蒲郡市民であることを誇らしく感じております。	参考意見として受け止めさせていただきます。
10	C	三河木綿を使った「温泉手形」温泉巡りができるもの 最終的に記念品になる。一日では回りきれないため、リピート客の確保。また、宿泊客以外の日帰り温泉客(地元民)の確保。 参考)洪温泉 祈願手ぬぐい	ご提案いただきありがとうございます。三谷温泉には日帰り温泉入浴パスポートがあり、5軒の個性豊かな露天風呂で湯あみを楽しんでいただけます。(新型コロナ対策の為、当面の期間中止) 三河木綿を使用した温泉手形については、参考意見として受け止めさせていただきます。
11	C	「松風園」「明山荘」横の商店街再築 レトロを通り越して少し怖い雰囲気があるため、ちょっとキレイに再築。蒲郡の観光案内所や観光スポットを作る。(自家用車、バス利用) ・レトロ喫茶(オムライス、ソーダ水など) ・スマートボール ・大橋裕之先生(ゾッキショップ)記念館 ・レコード屋(なんでもあり) ・昔ながらのお土産屋(貝殻の民芸品みたいな物) ・魚屋さん	ご提案いただきありがとうございます。参考意見として受け止めさせていただきます。
12	C	「三谷温泉ロープウェイ」復活	ご提案いただきありがとうございます。参考意見

		幅広い年代から愛される乗り物！夢物語ですが…ぜひ景色の素敵な蒲郡をアピールしたいです！	として受け止めさせていただきます。
13	C	年代別おすすめ観光マップ 子供、カップル、子育て世代、映画マニア、シニア層など、観光マップの作成。それぞれの世代が作る、それぞれのおすすめ観光マップ！スマホと連動するようなマップアプリ。	ご提案いただきありがとうございます。参考意見として受け止めさせていただきます。
14	C	蒲郡は各エリアで魅力がありすぎるので、観光しづらいように感じます。(遠方客はラグーナだけで終わってしまいそう) ラグーナや竹島水族館だけでなく、もっともっと魅力があることを知ってもらい、また、季節に合わせたリピート客を増やすことがよいのではないかと思います。 ご検討よろしくをお願いします。	参考意見として受け止めさせていただきます。
15	D	本市は、市域 57 km ² のうち 17 km ² が山地（山林）、農地 8 km ² 、宅地（工業用地含む）12 km ² 、そして海岸線は 47 kmと地勢バランスもよく、日本人が最も好む色合い 1 位ブルーと 2 位グリーン豊かな街であります。自然条件に加え社会的条件にも恵まれており、いわゆるコンパクトシティー的、コンビニエンスシティー的（*私的造語）な街であり、市民アンケート結果による住みよい街の回答者が 8 割超というのも頷けるところです。しかし、かえてこのよさが本市の個性を埋没させているとも言えます。 「改定・蒲郡市観光ビジョン」でも掲げられている「新たな時代への対応」のコンセプトは、風光明媚な自然をセールスすることが第一条件ではない、観光資源の根幹を支えるのは「地域に関わる市民そのものの役	参考意見として受け止めさせていただきます。

		<p>割」である、との考はまったく同感であります。「多様な市民（＝住民）が、“自らの生活の豊かさ” “精神的な富” を積み重ねていけるまち蒲郡でストーリーをつくる」は、まさにそれであり、熱海市（湯の町の新たな魅力づくり）、阿南市（草野球のメッカ）などが先例として浮かび上がってきます。また、本市においては、大手旅行社が注目しツアー企画を試みた形原春日の山の桜が、市民の力とそれに協働するネットワークづくりによって花開きつつあることを実証しています。また、市水族館のストーリー性のある展示方法等は、新たな魅力のシティーセールス方法を示唆しているものと受け止めています。</p> <p>「多彩な市民が、蒲郡の地域財産をどのようにとらえ、それを新たな資源としてどのように創造するか」に関わり「蒲郡シティーセールス基本方針」に賛同し、その具現化に注目していきたいと思えます。</p> <p>*「コンビニエンスシティー」：海・山・川などの自然条件が豊かで、歴史・文化遺産、さらに都市機能もほぼ標準的に有し、多彩な生活空間が広がる街。</p>	
16	D	<p>具体的施策を実現するにあたっては、いろいろな障壁が多いことは確かであります。その最も大きなものとして、市民意識の「自然に恵まれている観」、そして「市民生活のまあまあ感（危機意識の希薄感）」が挙げられます。これらの緩い意識は、新たなことへの参画意識を鈍らせるもので、それらの喚起には非常に多くのエネルギーが求められることを覚悟し、市民団体組織の編成・活用、市民研修会や現地探索会・ボランティア活動の企画などで機運を盛り上げていくことが必要と考えます。</p>	<p>参考意見として受け止めさせていただきます。</p>

		<p>「自然に恵まれている観」において、多くの市民の感想は、一部表層しか見ていないことからのとらえであり、現に一步山林へ踏み込んでみると、そのイメージのギャップに愕然とされると思います。本市山林の荒廃は中小河川の側溝化、ひいては海（三河湾）の無酸素化、不栄養化の状況をますます酷いものに行っているといても過言ではありません。確かに海水そのものは青く澄んだ水域が広がっており、一時の清涼剤としての役割を果たしていますが、本来の生産の場、循環機能としての海の役割を果たしていません。結果として、第5次蒲郡市総合計画の目標（3）「豊かな自然とともに安心して住み続けられるまちづくり」そのものの具現化が、シティーセールスの要件として焦点化されます。</p> <p>ようするに、<u>①防災対策の要としての山林の保全（海の保全）、加えて山資源の新たな開発が、安心安全の市民生活とセット化されること</u>により質の高いセールスポイントになると考えます。また、安心・安全意識を高める市民生活の具現化に向けて、<u>②防災対策に向けての多彩で強靱な市民施設の建設・設置が期待されます</u>。そして、なんといってもシティーセールスの要は、<u>③多彩な市民の人的資源の掘り起こしとそれらに連なる人脈の活用</u>と考えます。</p> <p>上記①～③の内容については、本基本方針では特別例示されていないことを受け、「ストーリーをつくる」の立場から、以下に私案例をそれぞれ一つずつ列記してみました。</p>	
17	D	① 旧五井・遠望峰山スカイラインの遊歩道化と山林保全【観光資源再	ご提案いただきありがとうございます。参考意見

		<p>開発・安心安全なゆとりある市民生活】</p> <p>旧スカイラインは、県・岡崎市・各地権者等の所有権の問題にも絡み本市が独自に開発・活用するには幾多の課題があると予想しますが、それにもまして活用の多彩さや開発過程における森林保全や害獣対策など市民の参画がおおいに期待される「ストーリー性のある事業」になると予想します。</p> <p>※平成30年に施行された「山林経営管理法」を有効に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代、健康志向、健康スポーツ振興に乗っ取り、360度多彩なパノラマ空間を活かし、旧スカイライン17kmを遊歩道化する（自転車も可とする）。 ・旧スカイラインを幹線道路としたとき、それにつなぐ麓からの遊歩道、バイク道（オフロード）を山林保全を兼ね建設・設置する。 ・遠望峰山山頂付近には、管理棟とトイレのみを設置したできるだけ自然順応型のキャンプ場を設ける。「生きる力を培うキャンプ場」として、特に社内研修や子ども会研修等の場としてセールスをする。 ・スカイライン両サイドの樹木の伐採、及び遊歩道等の建設には、市民ボランティアを大々的に動員して建設する。（市民のワンチーム意識の高揚） ・2024年より施行の「森林環境税（住民税に上乗せ課税1000円）」が徴収されるが、ボランティア参加者には、当税を市が負担する。 	<p>として受け止めさせていただきます。</p>
18	D	<p>② 市民交流（国際交流）、道徳性の高揚の場としての防災公園の建設</p> <p>【交流の場づくり・安心安全の市民生活】</p> <p>千葉県市川市の公園内防災対策の方略を知って、当市に定住しようと</p>	<p>ご提案いただきありがとうございます。参考意見として受け止めさせていただきます。</p>

		<p>いった外国人の声を聞いたことがあります。日本の将来において、より豊かな生活の生命線は防災対策、治安対策であると受け止めています。そこで、防災機能を工夫・創造し、日常的にはバーベキュー場としての交流機能を活かした防災公園を市内に3か所（西浦・蒲郡・三谷地区）に建設するとした構想です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、とりわけ外国籍の人たちの安直なレクリエーションとして、バーベキューは非常に人気の高いものがある。そこでの水場や下水のマンホール（トイレ）などが、災害時に即活用できる施設になるよう工夫する。 ・バーベキュー場の利用に際し、徹底した利用マナーを求め、道徳性（*）を高める防災公園として名声を高めるように努力する。 <p>*道徳性の例：「他者（弱者）への思いやり」「市民としてのワンチームづくり」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西浦に建設の防災公園内には、③との関連で屋内運動場を建設する。 	
19	D	<p>③ なでしこリーグ参入を目指した話題のチームづくりと情報発信【話題づくりからの市民文化づくりへ】</p> <p>本市には、市長をはじめサッカー履歴の関係者がいることが特筆されます。とりわけ、観光大使である K 氏は、東欧3か国でのプロサッカー選手としての歴があり、そこでの人脈などを生かした国際女子混成プロサッカーチームを立ち上げなでしこリーグ参入を目指すものです。プロといえども当初は生活基盤が必要であり、職・住、そして練習場の確保など市民の支援が必須になります。「共によりよく豊かに生きる」のコンセプトに基づき、人と人が直接支え合う活動を広く全世界に</p>	<p>ご提案いただきありがとうございます。参考意見として受け止めさせていただきます。</p>

		<p>発信してはと考えます。</p> <p>※なでしこリーグ参入の条件は全く考慮していません。農業実業団チーム「FC 越後妻有」(新潟県十日町市・津南町) 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初はNPO 法人を立ち上げてのチーム運営になるかと思いますが、市民の情熱づくり(やがては市民文化づくりへと広がる)において非常に有効と考える。 ・当チームのホームグラウンドを市陸上競技場とし、雨天時は②の屋内運動場を利用する。 ・関係者は、半日仕事、半日練習といった生活サイクルになるかと思う。その半日の仕事を、農・水・福、そして市行政などが受け持ち生活保障の基盤づくりを担う。 ・支援の見返りとして、サッカー関係者はできるだけ市民との交流の機会をつくり、SNS 等で自身の市民生活の様子の発信に努める。 	
20	E	<p>P1の「誇りや愛着を持って」、「蒲郡はこんないいまちだ」と、一丸となって市民が公道することが求められている…まさにその通りである。</p> <p>P2の「蒲郡への熱い思いを持ち寄り」、「協働・連携」するにあたり、もっと「蒲郡発の文学」についてこの方針の中で強く打ち出してほしいと思った。</p> <p>P5、P6に「文学記念館」の文字はあるが、ハード施設としての「記念館」が魅力的だ、と言っているように見える。もちろん、記念館は素敵な立地、誇るべき展示・企画を供えており、私も大好きな場所である。ただ、本当にここで書いておくべきは「日本文学史における蒲郡の存在</p>	<p>ご提案いただきありがとうございます。基本方針に基づく施策の方向性1に魅力の再発見、方向性3に魅力の情報発信があります。こちらの検討の際の参考意見として受け止めさせていただきます。</p>

	<p>感」自体が、誇りでありアピールポイントであるということだと思う。</p> <p>P 1 2 の「がまごおりじなる」の独自性、優位性を語る上で「蒲郡発の文学」を市内外にアピールすべき。ただし、敷居が高くなってはいけない。楽しく、わかりやすく。</p> <p>そのためにはP 1 4 「子ども・若者向け」の観点が大事。そこから結婚して蒲郡に住むようになった大人にも、新たな発見と感動、驚きを伴いつつ、波及させたい。そこで、日本人が必ず学校（小4）で習う、新美南吉「ごんぎつね」から蒲郡の文学に親しんでもらいたい。</p> <p>南吉には、蒲郡の童謡歌人・歌見誠一という友人がおり、多数の書簡が残され（南吉全集1 2 巻）、頻繁に蒲郡を訪れる機会もあった。蒲郡訪問時の南吉の短歌、「とある家の せどべに赤き木の実見ぬ 蒲郡はよろし 雪は降るとも」ここの、「蒲郡はよろし」を「蒲郡発の文学」の郷土教育の起点にしてほしい。</p> <p>P 1 6 の「魅力 PR コンテンツ」において、「時手紙などを活用」とあるが、同時に「ごんぎつねの作者・新美南吉と蒲郡の縁」から「まちの魅力」拡散を担う政策を求めたい。</p> <p>蒲郡ならではの、「がまごおりじなる」な史実を、小学四年生で「ごんぎつね」を習う教室で先生から子供たちに一言添えて欲しい。そこから、中学、高校、大人へと、「蒲郡発の文学」をアピールする人材へと育ててほしい。</p> <p>新美南吉と歌見誠一に関する史実は『新美南吉記念館研究紀要第一号』に掲載されているので参考にしてください。「文学記念館」でも読めるように、また何らかの説明ができるようにしておくことも併せて希望</p>	
--	---	--

		します。	
--	--	------	--